



1 第50回通常総会の開催

第50回通常総会が、平成19年5月29日午後3時30分から東海大学校友会館において開催された。来賓の環境省関 荘一郎廃棄物対策課長から祝辞をいただいた後、総会議長に森下副会長を選出し、議案審議を行った。

はじめに、平成18年度の事業報告並びに収支決算と平成19年度事業計画並びに収支予算について承認及び決定がなされた。

つづいて、役員を選任について審議がおこなわれ、4月末に行われた正会員全社の記名連記投票による選挙の結果から第1回理事会で推薦された正会員理事12名と、新たに入会された羽矢 惇氏を含み特別会員理事11名、監事2名が全回一致で承認された。



祝辞を述べる環境省廃棄物・リサイクル対策部
廃棄物対策課関課長

羽矢新会長の就任及び副会長、専務理事の再選
総会を一時中断して開催した理事会において、会長、副会長、専務理事の選任について協議した結果、会長には、新日鉄エンジニアリング株式会社代表取締役社長の羽矢 惇氏が新会長として選任され、また副会長に森下忠幸氏（(社)日本環境衛生施設工業会）と安元 豊氏（日立造船㈱）、専務理事に木下正明氏（(社)日本環境衛生施設工業会）が再任され、再開後の総会で報告された。



第50回通常総会で議長に選出された森下副会長



新会長に選任された 羽矢 惇氏



会長表彰を受け、謝辞を述べる玉出氏（左端）、
右より、羽矢会長、受賞者の澁谷氏、宮田氏、坂田氏

会長表彰

工業会の事業活動に永年貢献された功績により、雁瀬 彰氏（㈱クボタ）、坂田和昭氏（㈱神鋼環境ソリューション）、澁谷榮一氏（JFE環境ソリューションズ㈱）、玉出善紀氏（㈱タクマ）、西原充幸氏（㈱クボタ）、三角文彦氏（ユニチカ㈱）、宮田治男氏（三機工業㈱）、吉永元樹氏（石川島播磨重工業㈱・現㈱IHI）の8氏が会長表彰を受け、受賞者を代表して玉出氏から謝辞があった。

2 理事会の開催

平成 19 年 3 月 26 日（平成 18 年度第 7 回）

- ・平成 19 年度収支暫定予算の議決について
- ・分科会の退会について

平成 19 年 5 月 7 日（平成 19 年度第 1 回）

- ・正会員の退会の承認について
- ・理事の交代及び辞任について
- ・企画運営委員会委員の辞任について
- ・分科会の退会について

平成 19 年 5 月 10 日

（平成 19 年度第 1 回常任理事会）

- ・正会員理事選挙投票の開票立会及び当選順位の決定について

平成 19 年 5 月 10 日（平成 19 年度第 2 回）

- ・特別会員の退会・入会の承認について
- ・特別会員の理事又は監事への推薦について
- ・会長表彰について
- ・第 50 回通常総会議案について

平成 19 年 5 月 29 日（平成 19 年度第 3 回）

- ・会長、副会長（2 名）、専務理事及び常任理事の互選について

平成 19 年 6 月 13 日（平成 19 年度第 4 回）

- ・常任理事の互選について
- ・理事の業務分担について
- ・企画運営委員会委員会社及び技術委員会委員会社の推薦について
- ・常任参与の選任について
- ・理事交代の承認について

平成 19 年 7 月 12 日（平成 19 年度第 5 回）

- ・正会員の退会の承認について
- ・分科会の退会について

平成 19 年 9 月 11 日（平成 19 年度第 6 回）

- ・理事の交代について

平成 19 年 11 月 29 日（平成 19 年度第 7 回）

- ・事務所の移転について

平成 19 年 12 月 26 日（平成 19 年度第 8 回）

- ・分科会の退会について

3 自民党へ予算及び税制改正を要望

平成 19 年 11 月 9 日自由民主党本部で開催された環境部会及び環境関係団体委員会合同会議において、平成 20 年度予算及び税制改正に関する要望書を提出した。

◇平成 20 年度予算要望

平成 20 年度予算については「循環型社会形成推進交付金及び廃棄物処理施設における温暖化

対策技術開発事業（エネ特会）」の確保と充実を以下の項目について要望した。

- ① ごみ燃料化施設（BDF化、エタノール燃料化）の推進
- ② 既存最終処分場の延命化促進のための最終処分場再生事業
- ③ 廃棄物処理施設耐震化事業
- ④ 効率的な汚泥処理のための設備の増強
- ⑤ 環境負荷の低い輸送手段による廃棄物中継輸送システムの整備
- ⑥ 高効率発電技術等の実用化に係る技術開発・実証事業の推進

◇平成20年度税制改正要望

以下の項目について平成20年度税制改正に関する要望を行った。

I 国 税

1. 再商品化設備等に係る特別償却制度の延長・拡充（所得税・法人税）
2. 産業廃棄物処理用設備等に係る特別償却措置の延長（所得税・法人税）
3. 最終処分場に係る維持管理積立金制度に係る特例措置の延長（所得税・法人税）

II 地方税

1. 廃棄物再生処理用設備に係る課税標準の特例措置の延長・拡充（固定資産税）
2. 廃棄物処理施設に係る課税標準の特例措置

の延長（固定資産税）

3. 廃棄物処理法に規定する広域的処理に係る環境大臣の認定を受けた者の事業の用に供する施設等に係る課税標準の特例措置の延長（事業税）

4 環境大臣表彰

多年にわたり工業会の活動を通じて環境衛生分野の事業に尽力等のあった佐川利喜雄氏（極東開発工業㈱）と片岡静夫氏（㈱タクマ）の2氏に対し、環境大臣から表彰があり平成19年10月17日に札幌で開催された全国環境衛生大会の式場で表彰状が授与された。

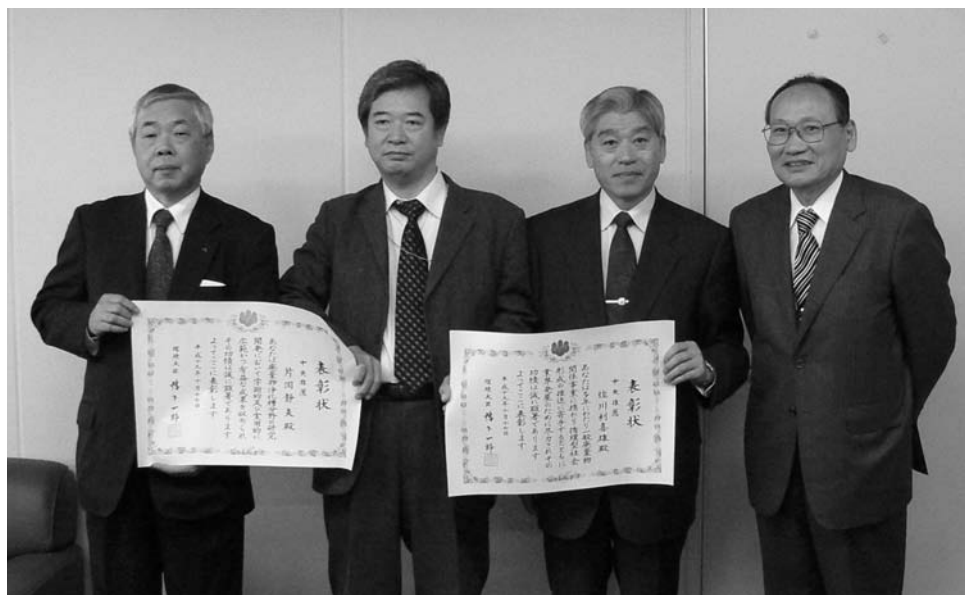
また、12月12日に受賞の報告と御礼のため環境省の由田廃棄物・リサイクル対策部長を訪問し歓談した。同日両氏には、当工業会木下専務理事から工業会のお祝い品が贈呈された。

5 環境省が3本のガイドラインを作成し、公表

環境省は平成19年6月28日に、「一般廃棄物会計基準」、「一般廃棄物処理有料化の手引き」及び「市町村における循環型社会づくりに向けた一般廃棄物処理システムの指針」の3本のガイドラインを公表した。

各ガイドラインの内容は、次のとおり。一般廃棄物会計基準は、市町村が一般廃棄物の処理

環境大臣表彰を受けた片岡氏（左端）、佐川氏（右から2人目）と環境省廃棄物・リサイクル対策部由田部長（左から2人目）、木下専務理事（右端）



環境省廃棄物・リサイクル対策部長室にて撮影



那覇・南風原クリーンセンターへの施設見学会
 (下・左) 施設内
 (下・右) 海面埋立地

事業に係るコスト分析及び評価を行い、その能率的な運営が可能となるよう標準的な分析手法を示したもの。また、一般廃棄物処理有料化の手引きは、市町村が有料化の導入又は見直しを実施する際に、参考となる手引きとして示された。市町村における循環型社会づくりに向けた一般廃棄物処理システムのパフォーマンスの指針は、一般廃棄物を総合的に評価する考え方、手法を示した内容となっている。

6 講話会の開催

平成19年12月14日に、今後の一般廃棄物処理施設整備動向等をテーマに講話会を開催した。同講話会では、(財)日本環境衛生センター西日本支局環境工学部の大澤正明部長に「廃棄物処理施設整備の動向と今後のあり方」と題して講演をいただき、日本廃棄物団体連合会の施設整備

動向調査研究会参加団体会員と工業会会員から28名が聴講した。

7 新処理技術施設見学会の開催

平成19年度の施設見学会は、11月30日沖縄県那覇市・南風原町環境施設組合の那覇・南風原クリーンセンターを対象に行った。岡山大学大学院田中勝教授を団長に会員会社から20名が参加した。見学施設では、組合の事務局長はじめ担当の職員の方から最新鋭の「ストーカ炉+灰溶融炉」の稼動状況の説明の他、溶融飛灰の無害・安定化処理物を処分する海面埋立地を見せていただいた。

8 関係団体等の各種委員会等への参画

- 1 (社)全国都市清掃会議
 ・「都市清掃」編集委員会

- ・研究事例発表会 実行委員会
- 2 (財)日本環境衛生センター
 - ・「生活と環境」編集委員会
 - ・廃棄物処理施設技術管理者講習会 運営委員会
 - ・技術管理者等ブロック別研修会 テーマ検討委員会
 - ・標準発注仕様書案策定作業委員会
 - ・一般廃棄物処理施設管理技術講習会に係るテキスト作成検討会
- 3 日本廃棄物処理施設技術管理者協議会
 - ・「環境技術会誌」編集委員会
- 4 (財)産業廃棄物処理事業振興財団
 - ・産業廃棄物処理業優良化推進事業
将来動向調査ワーキンググループ
優良化促進活動ワーキンググループ
- 5 (財)日本産業廃棄物処理振興センター
 - ・テキスト作成委員会
- 6 アジア太平洋廃棄物専門家会議
 - ・第3回アジア太平洋廃棄物専門家会議 実行委員会
- 7 (社)全国市有物件災害共済会
 - ・「廃棄物処理施設の安全化に関する調査研究」委員会
- 8 川崎市環境局生活環境部
 - ・事業系生ごみリサイクル研究会
- 9 関係団体等の各種講習会等への講師派遣
 - 1 (財)日本産業廃棄物処理振興センター
(講師派遣延 12名)
 - ・平成19年度産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会(新規・更新) 講師 12科目 (12名)
 - 2 (財)日本環境衛生センター
(講師派遣延 52名)
 - ・平成19年度廃棄物処理施設技術管理者講習会講師
 - ① 中間処理施設コース 8科目 (8名)
 - ② 産業廃棄物焼却施設コース
8科目 (8名)
 - ③ 破砕・リサイクル施設コース
23科目 (23名)
 - ④ 有機性廃棄物資源化施設コース
5科目 (5名)
 - ・平成19年度技術管理者等ブロック別研修会講師
 - ① 第1分科会(ごみ処理施設関係)
4科目 (4名)
 - ② 第2分科会(し尿処理施設関係)
4科目 (4名)
 - 3 中央労働災害防止協会
(講師派遣延 7名)
 - ・ダイオキシン類業務に係る作業指揮者養成研修会講師
 - ① 中央労働災害防止協会(東京分)
5科目 (5名)
 - ・ダイオキシン類作業従事者特別教育インストラクターコース講師
 - ① 大阪安全衛生教育センター分
2科目 (2名)